

トピック ― 今年と猛暑だった平成22年の野菜の価格 ―

今年の梅雨明けは、関東地域では7月6日と、平年より約2週間も早く、梅雨明け後は、東京の7月の猛暑日の連続記録を更新し、今後も厳しい暑さが予想されている。今年の夏の天候は、猛暑となった平成22年と似ているのではないかともいわれている。野菜の価格は、気象の状況に大きく左右されることから、平成22年と平成25年の指定野菜の卸売価格の状況を見ると、以下のとおり、これまでのところ、違った動きを示している。

① 平成22年の価格は、総じて高めに推移した。すなわち、5月から価格が高い品目が多く、6月と7月は、やや減ったものの、8月と9月は、ほとんどの品目で高くなった。5月の高値は、3月と4月の低温と日照不足が影響し、8月と9月の高値は、7月から9月にかけて高温であったことに加え、7月下旬から9月中旬にかけて降水量が少なかったことが影響したものと思われる。

② 一方、平成25年は、6月までは概ね安値の価格で推移してきた。4月と5月は好天に恵まれたことから、生育が順調に進み、5月の価格はすべての品目において安値となった。しかしながら、5月の降水量が少なかったことと、6月下旬に日照不足や低温等であったことにより、野菜の生育が停滞し、7月上旬は、多くの品目で価格が高くなっている。

主産地において、生育が回復してきており、今後、価格は落ち着いてくるものと思われるものの、平成22年のように降水量が少ない状態となれば、野菜の生育に大きな影響を与える可能性がある。一方、暑さが続けば野菜の消費が減少する傾向が見られることから、今後の気象等に十分注視する必要がある。

平成22年と25年の野菜の卸売価格と気象

平成22年

6月から9月にかけて、長期間にわたって記録的な高温が続き、「観測史上最も暑い夏」と呼ばれている。気象庁はこの猛暑を30年に1度の異常気象と認定。連続猛暑日（東京都千代田区4日間）、連続熱帯夜（東京都千代田区29日間）、猛暑日年間日数（東京都練馬区37日間）等を記録。熱中症で亡くなった人は最低でも496人に達した。

農産物・畜産物及び海産物で生産量が減少。米の1等米比率が64.4%と前年の83.0%を大きく下回り、北海道のサケの漁獲量が、前年の80%と大きく下回った。この年の漢字は、「暑」が選ばれている。

		5月	6月	7月	8月	9月
野菜価格	高い	ねぎ、はくさい、レタス、たまねぎ、きゅうり、ピーマン、だいこん、さといも、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、たまねぎ、きゅうり、ピーマン、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、なす、ピーマン、だいこん、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、きゅうり、トマト、ピーマン、だいこん、にんじん、ばれいしょ	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、だいこん、にんじん、ばれいしょ
	平年並み	キャベツ、トマト	はくさい、ほうれんそう、トマト、にんじん	はくさい、トマト、にんじん		
	安い	ほうれんそう、なす、にんじん	レタス、だいこん、なす、さといも	きゅうり、さといも	なす、さといも	さといも
気象 (長野県佐久地域)	気温	平年並み	高い	高い	高い	高い
	降水量	少ない	多い	多い	少ない	やや少ない
	日照量	多い	多い	多い	多い	多い

平成25年

連続猛暑日が、東京都千代田区で4日間となり、平成22年とタイ記録となる(7月11日現在)。

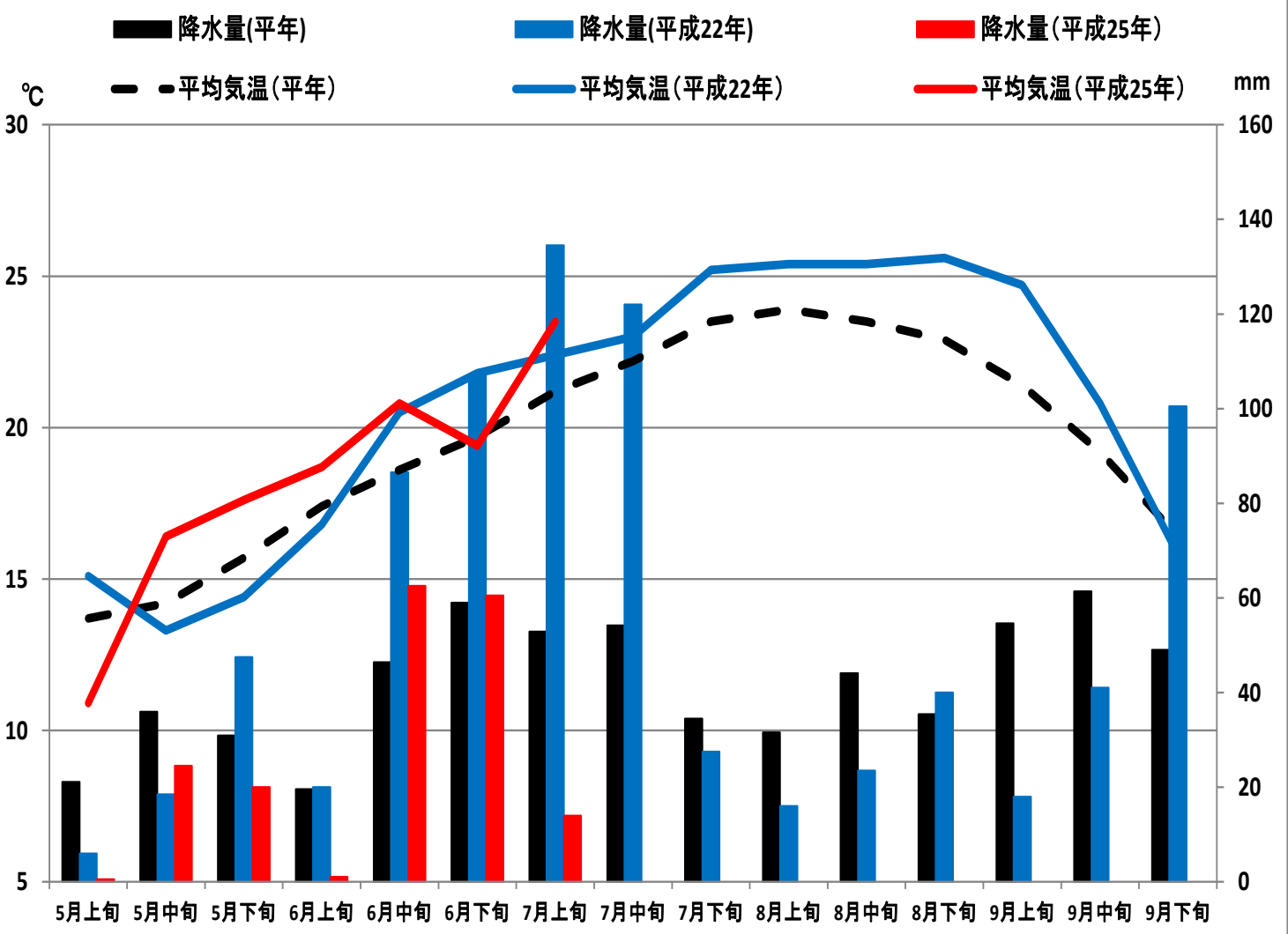
		5月	6月	7月上旬		
野菜価格	高い		キャベツ、ねぎ、ほうれんそう、きゅうり	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、きゅうり、トマト、なす、ピーマン、だいこん、さといも		
	平年並み		だいこん、はくさい			
	安い	キャベツ、ねぎ、はくさい、ほうれんそう、レタス、たまねぎ、きゅうり、トマト、なす、ピーマン、だいこん、にんじん、さといも、ばれいしょ	レタス、たまねぎ、トマト、なす、ピーマン、にんじん、さといも、ばれいしょ	たまねぎ、にんじん、ばれいしょ		
気象 (長野県佐久地域)	気温	平年並み	高い	高い		
	降水量	少ない	平年並み	大幅に少ない		
	日照量	多い	平年並み	多い		

資料: 青果物情報センター、気象庁「気象統計情報」

(注)

- 表の野菜価格は、東京都中央卸売市場の品目の平成22年と平成25年の月別卸売価格と平年価格(平成20～24年)の比較。平成25年の7月上旬は、旬別の比較。
- 表の気象は、平成22年7月から価格が高くなったレタスの主産地である長野県佐久の気象を用いている。平成22年と平成25年の月別と気温、降水量及び日照量の平年値との比較。平成25年7月上旬は、旬別の値との比較。

長野県佐久の気象(5～9月)

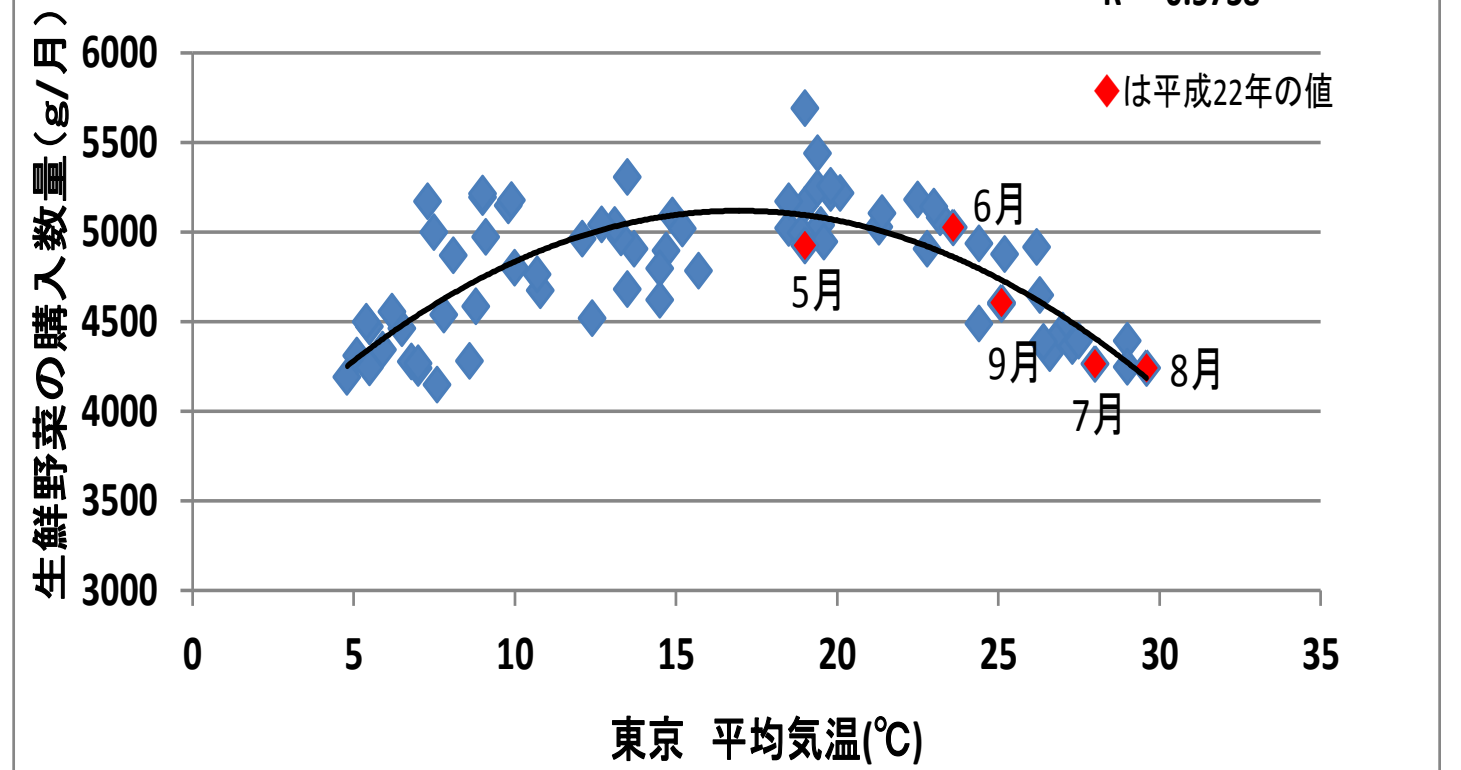


資料: ベジ探(原資料)気象庁「気象統計情報」

平均気温と生鮮野菜の購入数量の関係

(平成19年1月～25年5月)

$$y = -5.8471x^2 + 198.43x + 3434.6$$
$$R^2 = 0.5738$$



資料: (購入数量)「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」、(平均気温)気象庁

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html) に掲載しています。